



# 燃やしていいの？放射能汚染木

## 木質バイオマス発電を考える ニュースレター第12号

2021年3月

発行 田村バイオマス訴訟支援の会  
tamurabaiososyou.sien@gmail.com  
大越町の環境を守る会  
080-6010-7116 (久住)

### 虚偽と疑惑まみれの田村バイオマス発電所

#### 発電所竣工式 なぜか自慢のHEPA(ヘパ)フィルタ設置についてはダンマリ

昨年11月、田村バイオマス発電所の竣工式が行われました。この様子は福島民報など各紙で報道されています。不思議なことに、この竣工式の場で田村市長も田村バイオマスエナジーも「国内最高レベルの安全対策」などと言ってきた高性能HEPAフィルタ設置について一言も触れませんでした。本当に自信のある最高レベルの設備なら、ここぞとばかり宣伝する好機です。一言も触れないのは、やはり裁判でも追及されている「住民だまし」で「お飾り」のHEPAフィルタであることを示しているのではないのでしょうか。

#### 住民をバカにしている！？ 田村バイオマスが住民見学会でデタラメ説明

竣工式の後、数回にわたって地元住民向けの見学会が行われました。ここでも住民からの質問に対してデタラメな説明がされています。そのデタラメ説明の一部を紹介します。

#### 燃料チップの放射能測定はわずか1～2分で済む？！

ダンプで持ち込まれた燃料チップの放射能測定について、「放射能の線量自体は1～2分で測れるので。あとは（略）しておいてくれという時間だけですので、10分から15分くらいで分かるのです」との説明でした。これは明らかにウソ（虚偽説明）です。基準のキログラム当たり100ベクレル以下かどうかを測るのには少なくとも10分程度の測定時間がかかります。トラックの荷台から検体を採取し測定してチェックをすると結果がでるまで少なくとも25分から30分はかかるでしょう。1日10トントラック27台ほどの受け入れが必要ですから、最後のトラックはかなり長時間待つこととなります。まともに放射能測定をやろうとしているとは考えられない説明です。

#### 煙突で放射能濃度を測る、バグフィルタが1、2本、穴が開こうが問題にならない？！

排ガスについて「最後に煙突から出る放射性物質の濃度を測ります」との説明でした。これも明らかに住民をダマすような説明です。放射性物質の濃度を測るには環境省が定める特殊な装置が必要で、専門業者に依頼し排ガスを吸引して測らなければなりません。煙突で直接放射能濃度を測り常時監視しているかのような説明は住民をダマす説明です。「バグフィルタ（排ガス集じん機）に1、2本、穴が開こうが問題にならない」というのもひどい発言です。バグフィルタに穴が開けば、漏れた灰の粉じんの後段にあるHEPAフィルタが目詰まりして使い物にならなくなります。HEPAフィルタが「お飾り」であることを証明したような発言です。



本田仁一田村市長と田村バイオマスは、素人の住民だから適当に説明してごまかしておけばよい、というような姿勢を改めるべきです。

## 🌱 本安市政へ批判殺到

昨年12月、本安市長が自らの後援会幹部らにハム類を贈るなどした公職選挙法違反容疑が全国紙で大きく報道され、にわかに市長の動向に注目が集まっています。

### 「我田引水」とささやかれる本安市長

月刊誌「政経東北」（2021年2月号）は、林業会社「クライス」（田村市船引町）と市の事業をめぐる利益還流疑惑を伝えています。記事によると、田村市の発注する間伐事業や産業団地の伐採工事等を受注した森林組合の下請けに同社が入っていること、この会社は旧「本田商店」で、本安市長の妻が2018年まで社長を務めており、本安市長の後援会前会長の妻が2020年まで取締役であったとしています。

さらに現在の「クライス」の代表取締役の妻はやはり市長後援会の事務担当で、取締役2名は本安市長の息子、そして会社の住所が本安市長の個人事務所であるということです。

本田氏が市長に就任した2017年度よりクライスの決算額が前年より倍増し、その後も右肩上がりとなっていることも報じています。

大越町のバイオマス発電事業は本安市長が誘致したとされていますが、燃料の多くを占めるのは間伐材であり、地元林業者のみならず自らのファミリー企業への利益誘導と疑われてもやむを得ないでしょう。

2013年度から始まった間伐事業は100%国の交付金でまかなわれ、バイオマス発電事業は今後少なくとも20年間継続されるため、燃料確保のため間伐事業への交付金も継続されることが予想されます。

### “ケジメなき再出馬” まずは辞職すべき

月刊誌「財界ふくしま」（2021年3月号）は、本田氏が「公職選挙法違反疑惑」の渦中で次期市長選立候補を厳しく批判する多くの声を伝えています。

「映像で公選法違反ははっきりしている。ご本人も記者会見でハムを配ったことを認めており、一度市長を退任すべき」（複数の市民）

「本来であれば次期市長選出馬などできない。普通はハムの問題が出た時点で終わりだ」「法の秩序などあったものではない。市民の市政への不信感はますますひどくなる」（県内の首長や各政党関係者）

本安市長の“ケジメ”ある判断がますます問われています。

## 🌱 田村バイオマス発電所の様子 2021年1月29日



左：煙が上昇せず敷地内に滞留している

右：発電所敷地に積み上げられ、雪をかぶった燃料チップ



## 🌱 第8回裁判 4月13日(火)13:30 福島地方裁判所 裁判終了の20分後より福島市市民会館にて報告集会を行います。

◆カンパをお願いします◆  
ゆうちょ振込口座：00270-8-106485  
口座名称：田村バイオマス訴訟支援の会  
タムラバイオマスソシヨウシエンノカイ

銀行からの振込の場合  
店名(店番)：029  
当座 0106485

田村バイオマス訴訟  
支援の会 facebook  
<https://www.facebook.com/groups/468923530580459/>  
進捗状況、イベントなど  
発信しています。